



特急全車指定でどうなる?!

来春ダイヤ改「正」、同じ轍は二度と踏みたくない?!

来年のダイヤ改「正」の一部である房総特急列車の全車指定席車両化のプレス発表、及び一般向けパンフレットが早々に配布され始めました。ここ数年、毎度のことのように組合または現場社員への通達前であり、怒りがこみ上げます。

今回取り上げたいのは、内容以上に、利用者に対して、あるいは現場で扱う私たち車掌に対して、会社がどれだけ責任感

を持って、丁寧に告知、そして指導出来るのかということでもあります。

前回の苦い思い出・・・

前回、今年のダイヤ改から始まったえきネットによる指定席システムに関しては、その前年末に A4 の1枚もののチラシが配られただけで、車掌への教育も何もなく、分からないことだらけで、その当日を迎えることになりました。

当然、連日苦情の嵐ですが、矢面に立たされるのは、私たち車掌で、会社からのフォローは皆無でした。一年半が経過し、ようやく落ち着いてきた感もありますが、未だにトラブルは発生しています。

今回は2つ折り4ページのパンフレットが用意され、支社社員が特急車内で配布を始めましたが、それを見たある車掌は「利用者の前に我々への説明が先だろ」と言ったとのこと。当然であります。あの時の同じ轍は踏みたくありません。

パンフレットもいい加減?

例えば事前料金、車内料金の違いについてありますが、2ページ目の変更後の欄は上から①PC,スマホによるえきネット事前割引料金、②(きっぷの料金という表記)券売機、みど窓による事前割引料金、③割引なしの車内料金という3段階の料金設定ということらしいですが、非常に分かり辛く(不親切)、混乱を招きそうです。指定席特急料金が変更になるので、まずそこが要注意かと思います。

他にも、座席未指定券の導入(発券され、以前の指定席回数券と同じ扱い)等々、前回同様、突っ込みどころ満載のパンフレットです。

会社は責任を持って、新しい施策に取り組んでほしいものです。



うたてつ ノススメ⑩

修学旅行 (舟木一夫) 1963年8月

① 二度と帰らぬ 思い出乗せて
クラス友だち 肩よせ合えば
ベルが鳴る鳴る プラットホーム
ラララ 汽車はゆく 汽車はゆく
はるばると はるばると
若いぼくらの 修学旅行

③ 霧の港に 湖畔の宿に
名残りつきない 手と手をふれば
あとを追うよな 小鳥の群れよ
ラララ 汽車はゆく 汽車はゆく
さようなら さようなら
若いぼくらの 修学旅行 ★

ワクワクするよなラテンリズムのイントロから始まる歌メロはマイナーコードの純日本風で、この多国籍感がたまらん!リズム歌謡が流行った時代だ。

デビュー曲「高校三年生」が空前の大ヒットで、それに続くこの曲、次の「学園広場」と高校三部作と呼ばれた。

別枠の歌詞は1番と3番だが、個人的には2番の「僕のカメラであこがれの君を写し、思い出に残したい」みたいなフレーズが好き。こんな他愛のないことが歌になってしまった時代、何とものどかで平和を感じずにはいられない。

ない。まだまだ不便な時代であったが、でもそれは決して不幸なんかじゃなく、だからこそちょっとのことで感動し、色んな夢を抱くことも出来たのではないだろうか。この人の歌唱の魅力は何と言っても抜群の歌唱力を基本に、低音部分と節回しのつや(色気?)だと思う。誰にでもある青春時代の甘づっぱい思い出。今こんな時代だからこそ、多くの人に歌ってほしい1曲。